

# 高砂香料工業株式会社

## 2024年3月期 決算説明会

証券コード:4914

2024.5.24

# 目次

---

**I. はじめに**

**II. 2024年3月期 通期業績**

**III. 2025年3月期 通期業績予想**

# I. はじめに

## 創業精神

技術立脚の精神に則り社会に貢献する

## 企業理念

香りを原点とする革新的な技術を通して、  
新しい価値を創造し続ける

## Vision 2040

人にやさしく、環境にやさしく

1. 多様な価値観を尊重する
2. 自然と共生し、人々の生活に彩りを与える
3. 夢と誇りを持って未知の世界へ挑戦する
4. 常に高い技術を追求する、かけがえのない会社

# NGP-1で目指したこと

- 2021年3月に策定したVision 2040に沿った最初の中期経営計画

結果	
2023年度	
売上高	1,959億円
営業利益	23億円

**【NGP-1】**

2023年度  
売上高 1,700億円  
営業利益 75億円

2021-2023  
(事業・経営基盤の方向付けと強化)

【3つの基本方針】

- ・海外の成長促進
- ・国内の利益改善
- ・サステナビリティの推進

2024-2030  
(展開)

**Vision 2040**

2040年度  
売上高 3,000億円  
営業利益 150億円

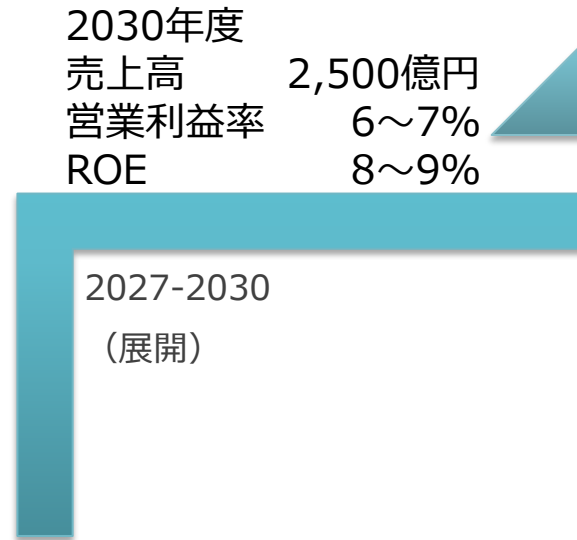
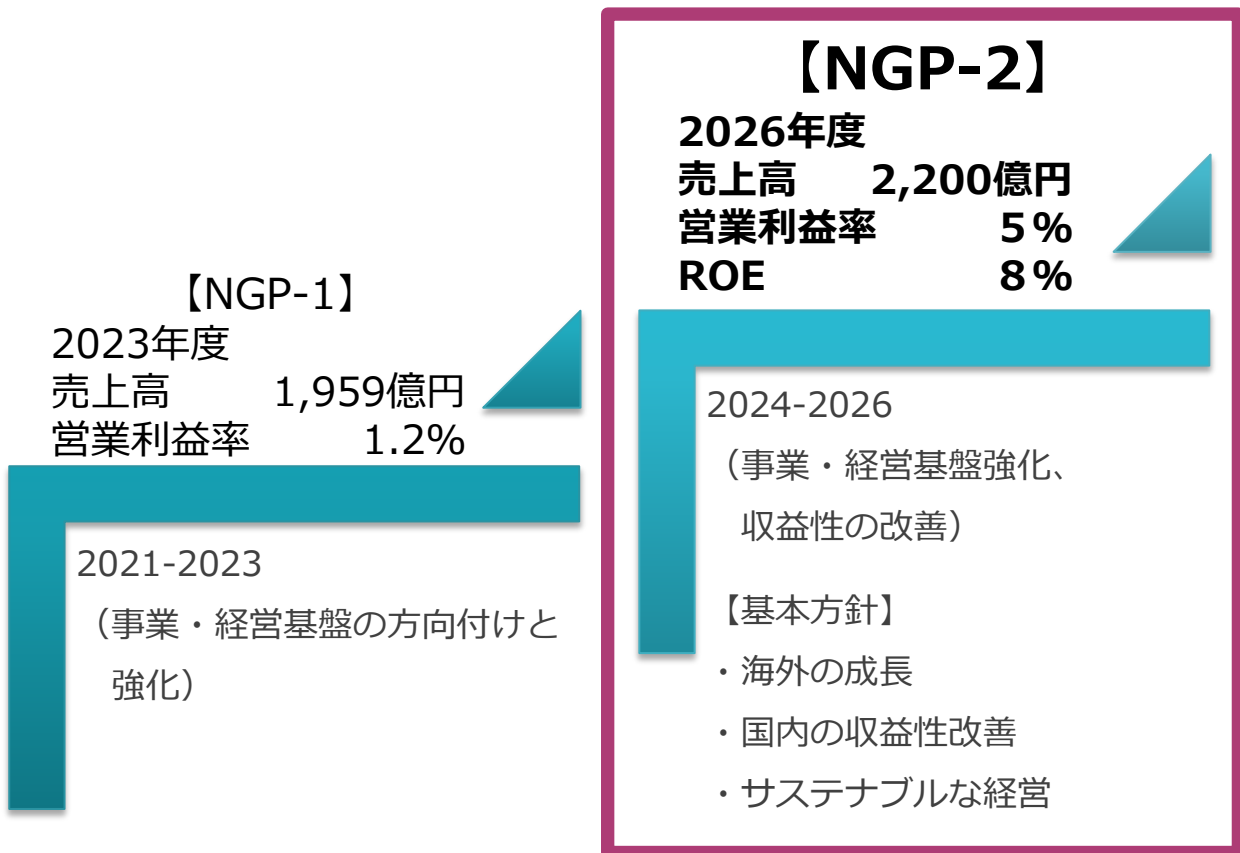
2031-2040  
(発展)

人にやさしく、環境にやさしく

1. 多様な価値観を尊重する
2. 自然と共生し、人々の生活に彩りを与える
3. 夢と誇りを持って未知の世界へ挑戦する
4. 常に高い技術を追求する、かけがえのない会社

# NGP-2で目指すこと

- 2024年から2026年の3年間における中期経営計画は、New Global Plan-2【NGP-2】とする
- Vision 2040の定量目標を見直し、NGP-2を策定した



**Vision 2040**

2040年度  
売上高 3,000億円  
営業利益率 8%~  
ROE 8~10%

2031-2040  
(発展)

人にやさしく、環境にやさしく

1. 多様な価値観を尊重する
2. 自然と共生し、人々の生活に彩りを与える
3. 夢と誇りを持って未知の世界へ挑戦する
4. 常に高い技術を追求する、かけがえのない会社

## Vision 2040

### NGP-2

#### 基本方針

#### Key Success Factors

#### 海外の成長

- 事業軸の成長戦略
- 新規顧客の開拓
- 売上総利益の拡大
- 海外サプライチェーンの最適化
- 先端科学による競争力のある技術の創成

#### 国内の収益性改善

- 売上総利益の最適化
- 費用の構造改革
- 新領域の開拓
- フレーバー・フレグランス製品生産効率性の追求
- 合成事業生産体制の再構築
- 国内サプライチェーンの最適化
- 先端科学による競争力のある技術の創成

#### サステナブルな経営

- Sustainability2030の実行
- コーポレート基盤の強化
- 人的資本の価値最大化
- 業務遂行力の向上
- SDGsへの貢献を意識した製品の開発

## II. 2024年3月期 通期業績



# 2024年3月期 通期業績

[単位：億円]

	2023/3	2024/3	前期比	為替影響除く 前期比
売上高	1,868	1,959	+4.9%	+0.0%
売上総利益 売上総利益率	544 29.1%	565 28.8%	+3.7% △0.3P	— —
販売管理費	485	542	+11.7%	—
営業利益 営業利益率	59 3.2%	23 1.2%	△61.1% △2.0P	△59.8% —
親会社株主に帰属する 当期純利益	74	27	△63.5%	—

期中平均為替レート

USD :	131円	141円	+10円
EUR :	138円	152円	+14円

## Point!

売上高：日本およびアジアの堅調な推移に加え、円安効果もあり増収。  
 売上総利益率：価格転嫁は進めているものの、それを上回る原料高騰の影響等により粗利率低下。  
 販売管理費：主要な増加費目は人件費が+18億円、研究開発費が+15億円。

# 地域セグメント

[単位：億円]

	売上高				営業利益			
	2023/3	2024/3	前期比	為替影響 除く 前期比	2023/3	2024/3	前期比	為替影響 除く 前期比
日本	715	723	+1.2%	-	23	14	△40.4%	-
米州	469	503	+7.2%	△1.5%	7	2	△76.3%	△77.5%
欧州	319	333	+4.3%	△5.6%	8	△12	-	-
アジア	364	400	+9.8%	+4.7%	23	22	△1.9%	△6.5%
調整	-	-	-	-	△1	△2	-	-
合計	1,868	1,959	+4.9%	+0.0%	59	23	△61.1%	△59.8%

## Point!

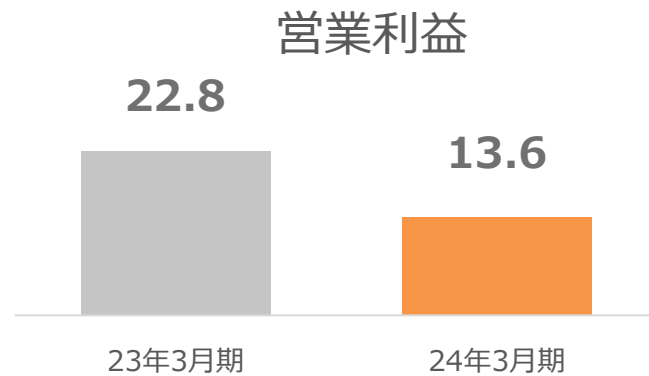
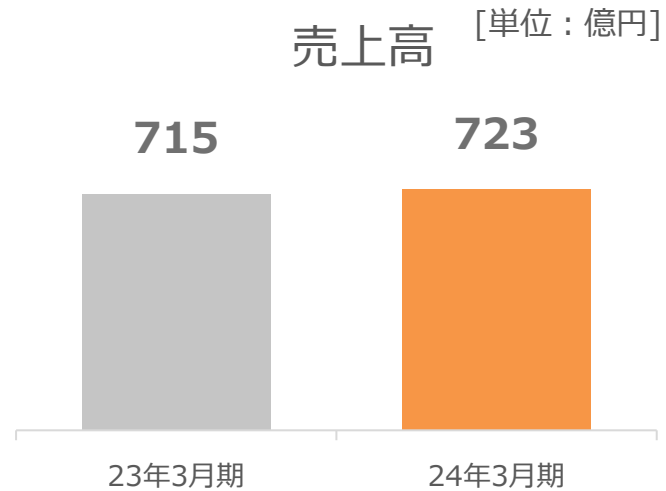
日本：売上高はフレーバー、フレグランス部門が伸長。利益面では原料高騰、人件費増加等により減益。

米州：米国子会社の昨年11月の基幹システム本番稼働に伴う一時的な出荷調整等により4Q業績悪化。

欧州：フレーバー原材料の評価損計上やフレグランス製品の原料高騰等の影響により減益。

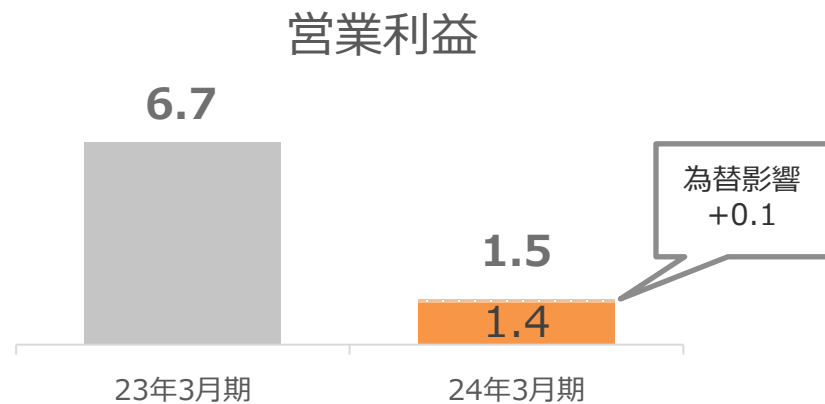
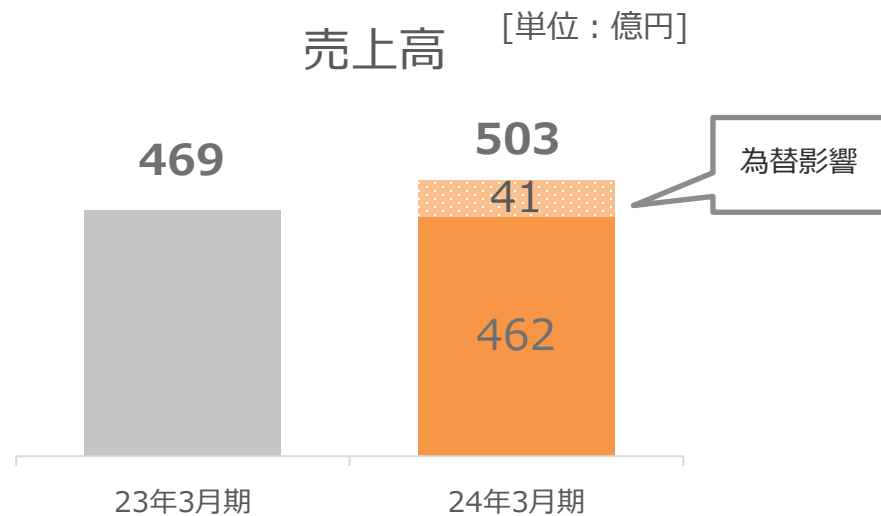
アジア：売上高はシンガポール子会社等が堅調に推移。インフレ等による販管費増により営業利益は微減。

# 地域セグメント(日本)



- **売上高+1.2%**
  - フレーバー部門：飲料関連が堅調に推移
  - フレグランス部門：ランドリーケア関連等が堅調に推移
  - アロマイングリディエント部門：メントール関連が停滞
- **営業利益△40.4%**
  - 原料高騰、人件費増加等により減益

# 地域セグメント(米州)



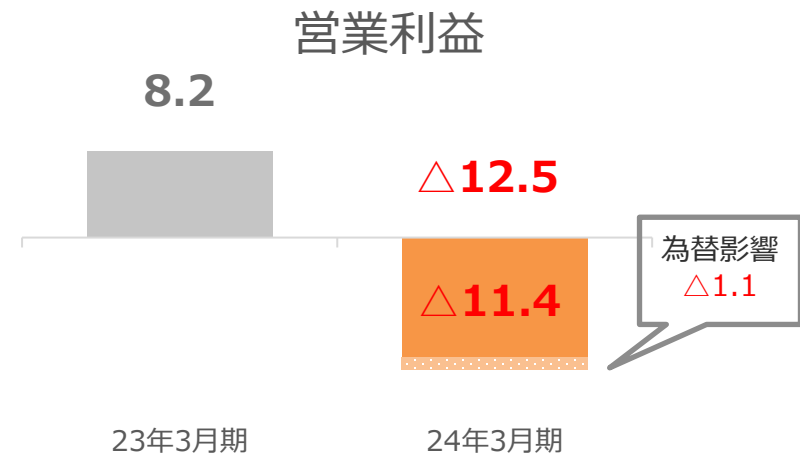
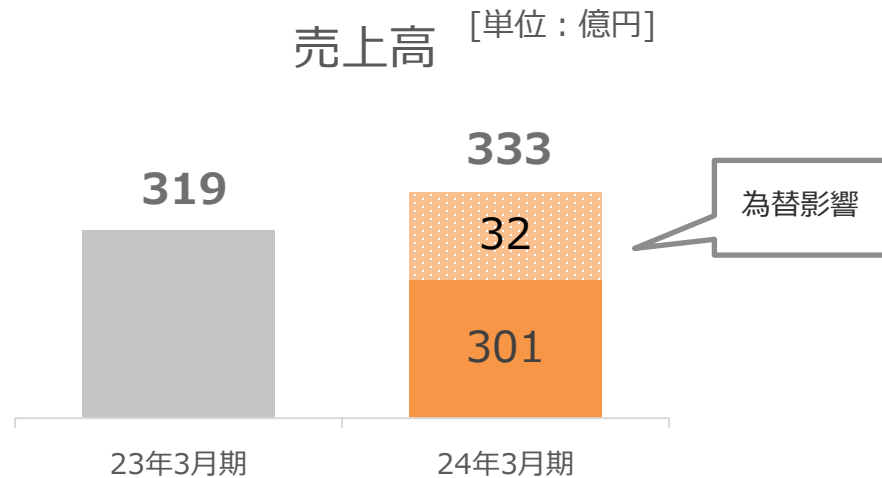
- **売上高+7.2%**

- 米国子会社及びメキシコ子会社においてフレグランス部門等が堅調に推移したが、米国子会社の昨年11月の基幹システム本番稼働に伴う一時的な出荷調整等、一過性の要因により、為替影響を除くと1.5%の減収。

- **営業利益△76.3%**

- 価格転嫁等による売上総利益改善があったものの、上記基幹システム本番稼働に伴う一時的な出荷調整等の影響により、減益。

# 地域セグメント(欧州)



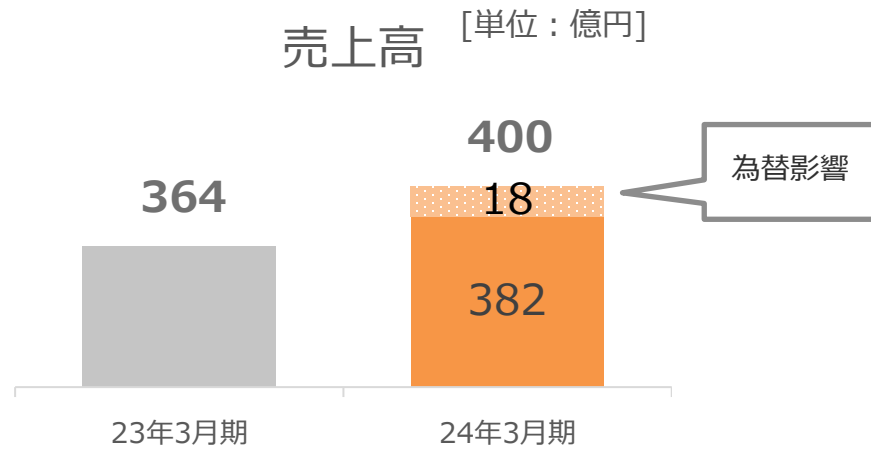
- **売上高+4.3%**

- フレーバー部門：アフリカ向けビジネス等が堅調に推移
- フレグランス部門：顧客の在庫調整等によりファインフレグランス関連が停滞
- アロマイングリディエント部門：メントール関連が停滞

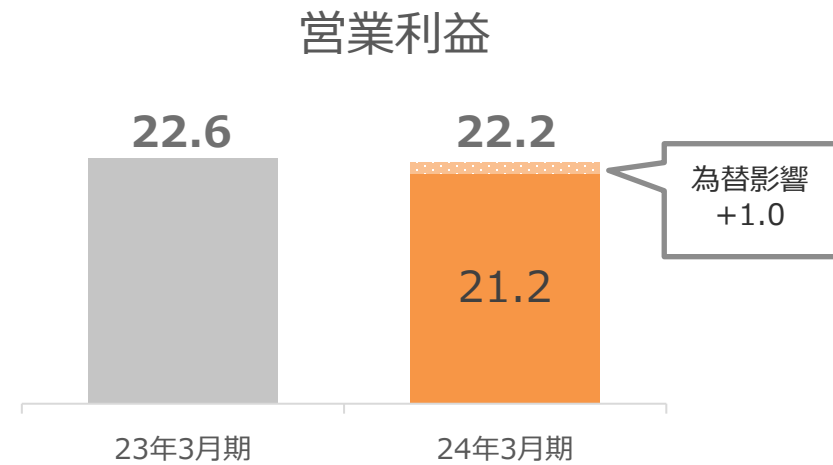
- **営業利益 赤字**

- ドイツ子会社で保有するフレーバー原材料の評価損を計上したことやフレグランス製品の原料高騰等により赤字

# 地域セグメント(アジア)



- **売上高+9.8%**
  - フレーバー部門：飲料関連が堅調に推移
  - フレグランス部門：新規製品獲得等により堅調に推移



- **営業利益△1.9%**
  - 増収による利益貢献があったものの、インフレ等による販管費増により微減

# 事業セグメント

[単位：億円]

	売上高			営業利益		
	2023/3	2024/3	前期比	2023/3	2024/3	前期比
フレーバー	1,056	1,092	+3.4%	29	12	△59.7%
フレグランス	564	627	+11.2%	△12	△14	-
アロマイング リディエンツ	119	130	+9.1%	14	9	△35.4%
ファイン ケミカル	115	97	△15.8%	16	4	△74.4%
その他	14	14	△1.2%	12	12	+0.4%
合計	1,868	1,959	+4.9%	59	23	△61.1%

## Point!

フレーバー：日本・アジアの飲料向けが堅調に推移。

フレグランス：シンガポール子会社及びインドネシア子会社において香粧品向け等が好調に推移。

アロマイングリディエンツ：スペシャリティ品関連が好調に推移。

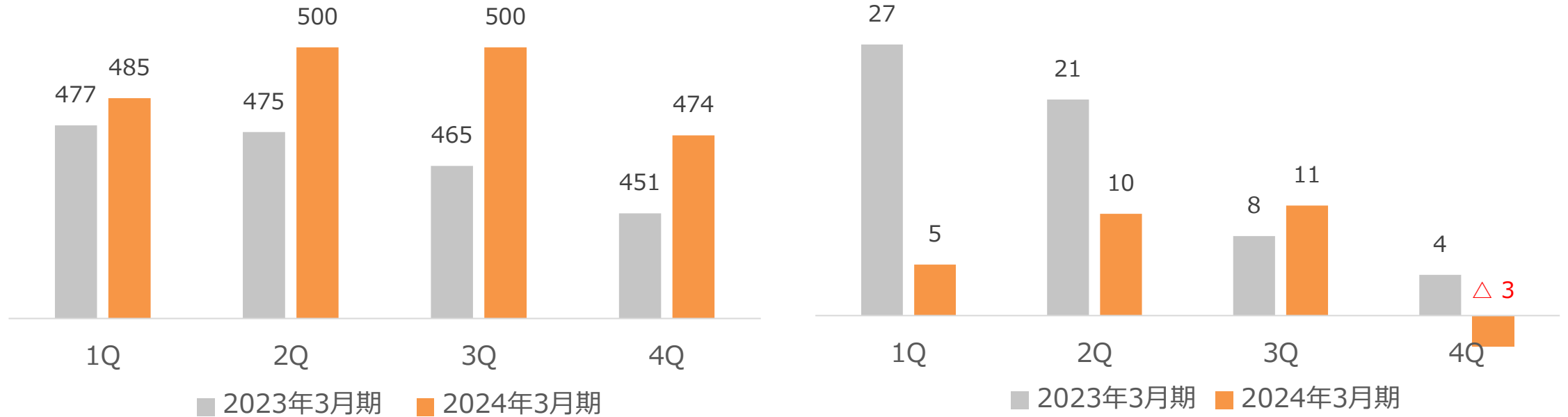
ファインケミカル：医薬品中間体が前期を下回る。

# 四半期決算推移

## 売上高

## 営業利益

[単位：億円]



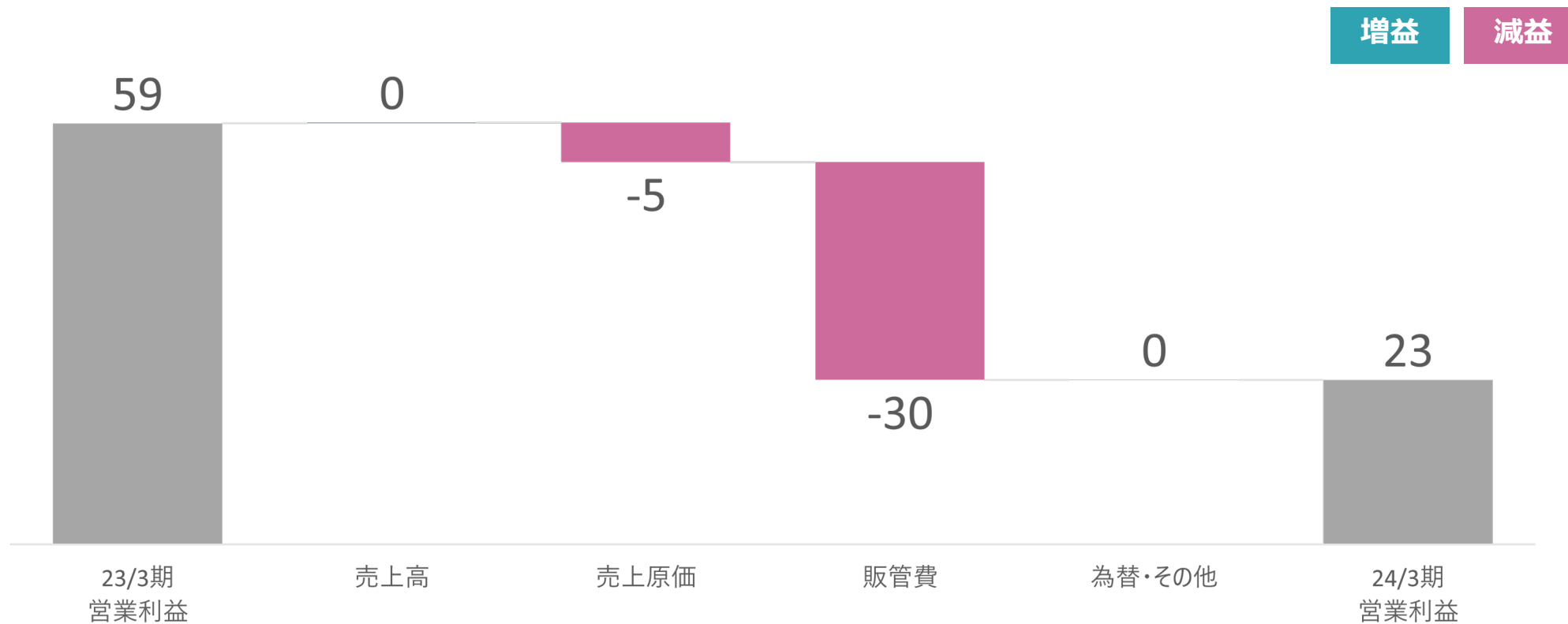
### Point!

- 売上高：日本・アジアの堅調および、円安効果により全ての四半期で増収。
- 営業利益：4Qに欧州のフレーバー原材料の評価損および米州の基幹システム本番稼働に伴う一時的な出荷調整等の影響が発生したため、四半期赤字。



# 営業利益の増減分析

[単位：億円]



**Point!**

ドイツ子会社のフレーバー原材料の評価損の影響等により売上原価が減益。  
また、人件費等の販管費が増加し、営業利益は前期比68%減の23億円で着地。

# III.2025年3月期 通期業績予想

# 2024年度に目指すこと

中期経営計画【NGP-2】の基本方針、「海外の成長」「国内の収益性改善」に沿った施策を推進し、成長市場での売上伸長、主に国内における製品構成の最適化を図る。将来に向けた事業基盤強化、成長投資の実行及び意思決定を行う。

NGP-1  
2023年度  
売上高 1,959億円  
営業利益率 1.2%  
ROE 2.2%

(事業・経営基盤の方向付けと強化)

NGP-2  
2024年度  
売上高 2,050億円  
営業利益率 2.0%  
ROE 3.5%

(事業・経営基盤強化、  
収益性の改善)  
【基本方針】  
・海外の成長  
・国内の収益性改善  
・サステナブルな経営

NGP-2  
2025年度  
売上高 2,100億円  
営業利益率 3.6%  
ROE 6.0%

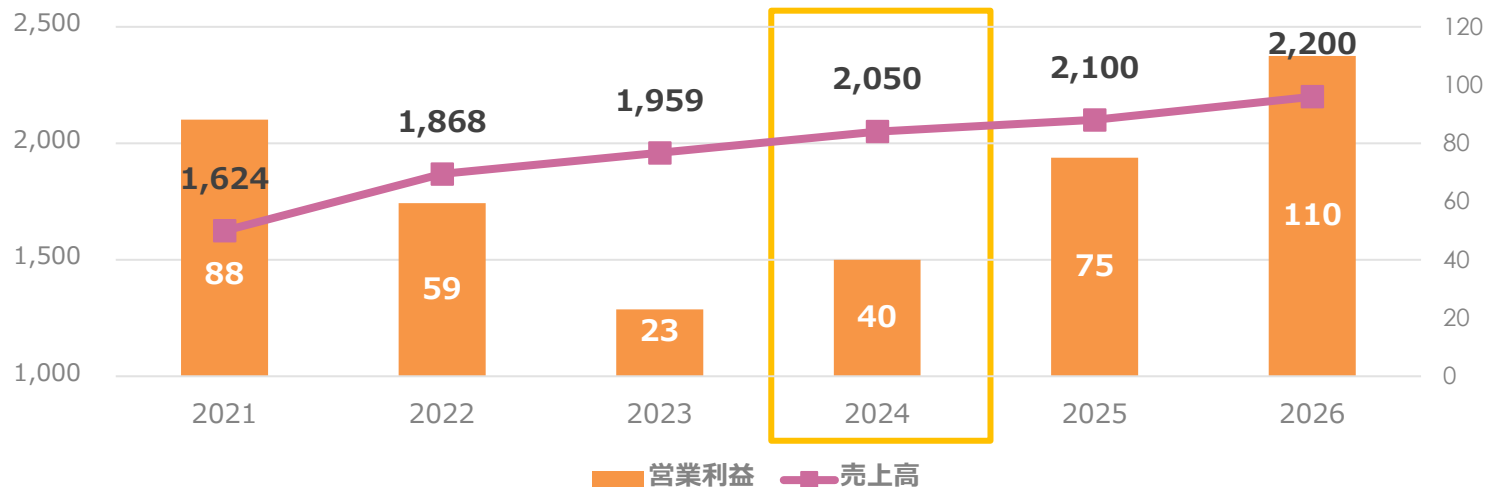
(事業・経営基盤強化、  
収益性の改善)  
【基本方針】  
・海外の成長  
・国内の収益性改善  
・サステナブルな経営

NGP-2  
2026年度  
売上高 2,200億円  
営業利益率 5.0%  
ROE 8.0%

(事業・経営基盤強化、  
収益性の改善)  
【基本方針】  
・海外の成長  
・国内の収益性改善  
・サステナブルな経営

# 2024年度 連結 売上高/営業利益/EBITDA

[単位：億円]

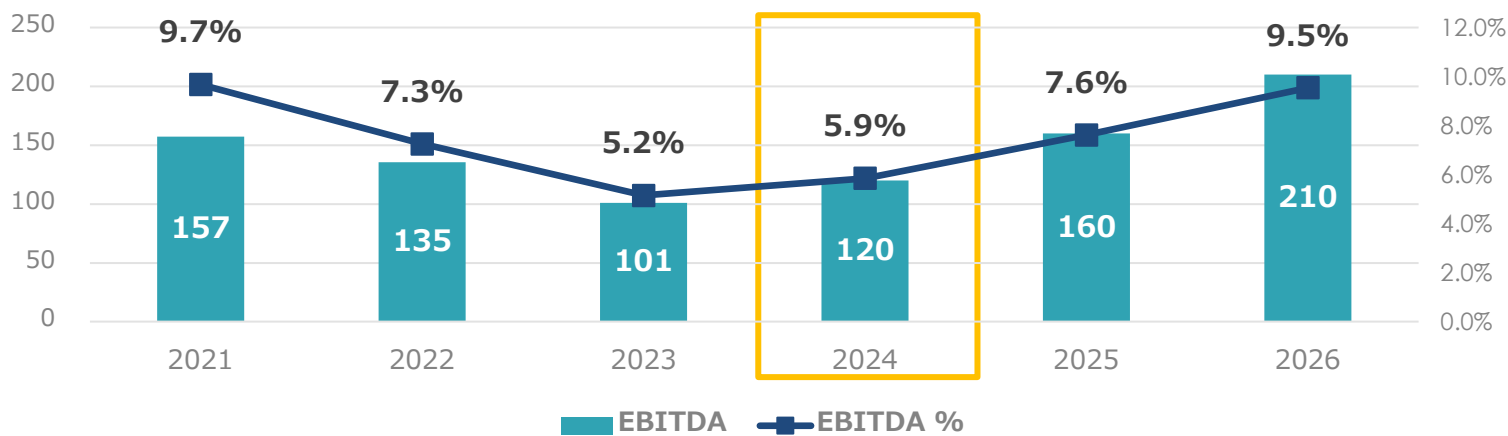


## 売上高

- 2024年の売上高は過去最高の2,050億円
- 2024年の対前年成長率は4.6% (日本3.6%、海外5.3%)
- 2024年の海外売上比率は63%

## 営業利益

- 2024年の営業利益は40億円
- 売上総利益 売上比 +1.7%
- 販管費 売上比 +0.9%



## EBITDA

- 2024年のEBITDAは120億円

※EBITDA=営業利益+減価償却費

# 為替の前提、感応度

## ● 為替の前提

	2024/3 通期実績	2025/3 通期予想	前期比
U S D	141円	140円	△1円
E U R	152円	150円	△2円

## ● 為替感応度 (1円円高/円安のケース)

### ● 売上高に対する影響

- USD = 約5億円減収/増収
- EUR = 約3億円減収/増収

### ● 営業利益に対する影響

- USD = 約10百万円減益/増益
- EUR = 約3百万円減益/増益

# 2025年3月期 通期業績予想

[単位：億円]

	2024/3通期業績	2025/3通期予想	前期比
売上高	1,959	2,050	+4.6%
営業利益 営業利益率	23 1.2%	40 2.0%	+72.7% +0.8P
経常利益	47	50	+6.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	27	45	+66.8%
E B I T D A	101	120	+17.9%
R O E	2.2%	3.5%	+1.3P

期中平均為替レート

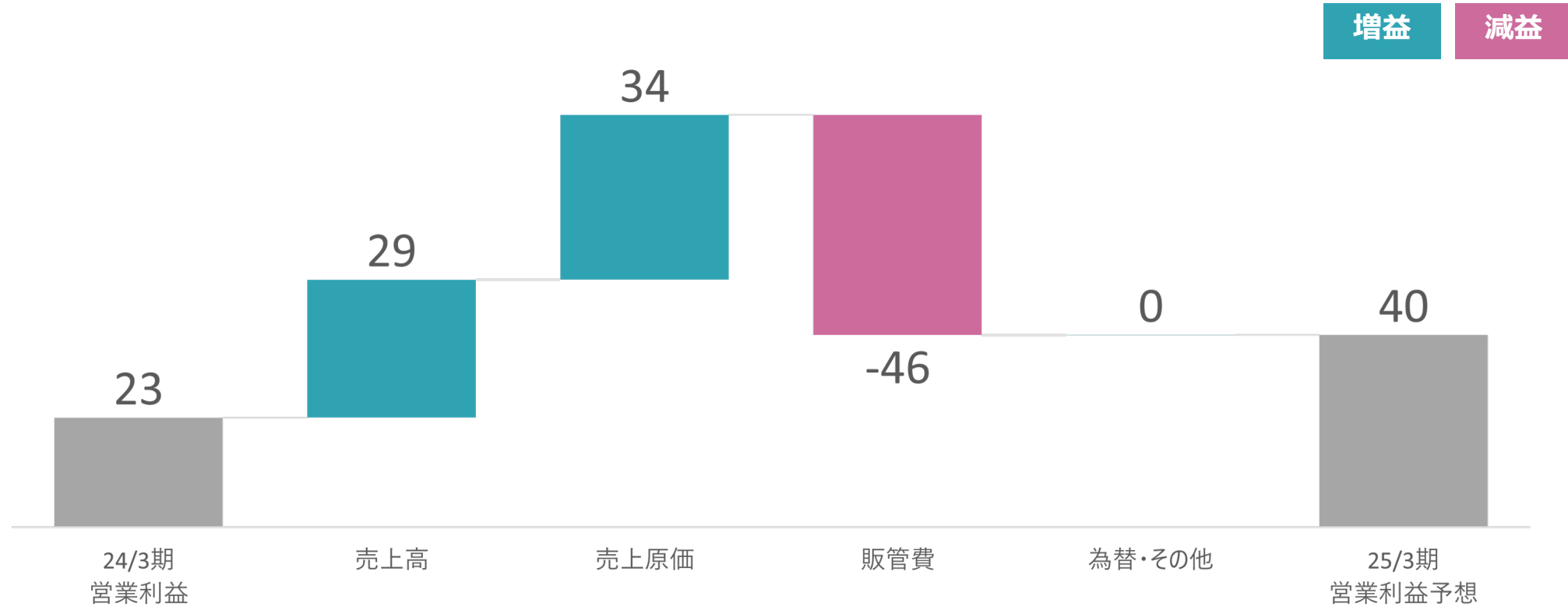
USD :	141円	140円	△1円
EUR :	152円	150円	△2円

## Point!

- 米州・アジアの伸長により、過去最高売上を更新する見込み
- 原料価格の落ち着き、価格転嫁の伸長等により利益は増加

# 営業利益の増減分析

[単位：億円]



**Point!**

将来のビジネス発展のための人員強化等による販管費の増加を見込むものの、海外セグメントの成長および原料価格の落ち着きにより、2025年3月期は増益見込み

# 地域セグメント

[単位：億円]

	売上高			営業利益		
	2024/3	2025/3予想	前期比	2024/3	2025/3予想	前期比
日本	723	749	+3.6%	14	3	△78.6%
米州	503	548	+8.9%	2	7	+250.0%
欧州	333	337	+1.2%	△12	5	-
アジア	400	416	+4.0%	22	25	+13.6%
調整・その他	-	-	-	△2	0	-
合計	1,959	2,050	+4.6%	23	40	+72.7%

## Point!

- 売上高：米州のフレーバー、フレグランス、ファインケミカル伸長により増収見込
- 営業利益：欧州の粗利率改善により増益見込



# 事業セグメント



[単位：億円]

	売上高			営業利益		
	2024/3	2025/3予想	前期比	2024/3	2025/3予想	前期比
フレーバー	1,092	1,111	+1.7%	12	15	+25.0%
フレグランス	627	648	+3.3%	△14	△8	-
アロマイングリ ディエーツ	130	122	△6.2%	9	7	△22.2%
ファインケ ミカル	97	154	+58.8%	4	13	+225.0%
その他	14	14	±0%	12	12	±0%
合計	1,959	2,050	+4.6%	23	40	+72.7%

## Point!

- 売上高：米州のファインケミカル販売増を主因に増収見込
- 営業利益：米州のファインケミカル、フレグランスの販売増を主因に増益見込

# 4つの事業の成長

事業	方針、施策	成長性(前期比)
<b>フレーバー</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業戦略や設備・研究投資を通じて、新規顧客の獲得や新興国でのビジネス拡大</li> <li>製品ポートフォリオ適正化により、収益性の改善</li> <li>各地域でのニーズを満たす素材/製品開発とグローバル連携による競争力を強化</li> </ul>	<b>【売上高】</b> +1.7% <b>【営業利益】</b> +25.0%
<b>フレグランス</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>人的/技術のグループ内連携や設備・研究投資を通じて、パーソナルケアに注力。東南アジア、中南米、インドなど新興国でのビジネスを拡大</li> <li>原材料費や製造経費におけるマネジメント力を強化推進</li> <li>事業基盤の強化（人材、R&amp;D、Consumer Insights &amp; Market Research）</li> </ul>	<b>【売上高】</b> +3.3% <b>【営業利益】</b> -
<b>アロマ イングリディエツ</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>農産物分野などの新領域、新興国での既存ビジネス拡大</li> <li>付加価値の高いスペシャリティ製品の拡充により収益性の改善</li> <li>生分解性やバイオベース値などに配慮し、環境にやさしい新規品の開発</li> </ul>	<b>【売上高】</b> △6.2% <b>【営業利益】</b> △22.2%
<b>ファインケミカル</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>医薬品中間体カテゴリーの拡大</li> <li>新工場設備稼働による製品供給能力の強化</li> <li>触媒技術や連続フロー技術の深化により競争力の向上</li> </ul>	<b>【売上高】</b> +58.8% <b>【営業利益】</b> +225.0%

# 設備投資・減価償却費・研究開発費

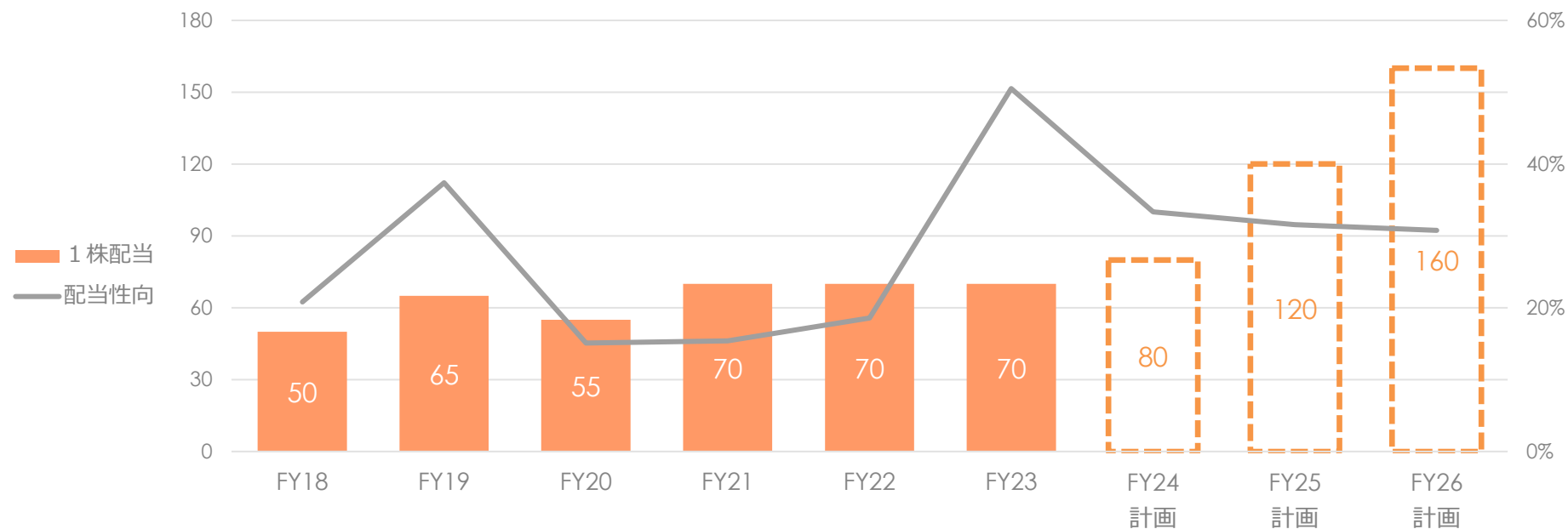
[単位：億円]

	2022/3 実績	2023/3 実績	2024/3 実績	2025/3 予想
設備投資	80	83	105	130
減価償却費	69	76	79	80
研究開発費	129	137	157	165
売上高研究開発費率	7.9%	7.9%	8.0%	8.0%

## Point!

- 設備投資：成長投資として磐田工場ファインケミカル設備増強30億円を含む
- 減価償却費：海外拠点のシステム導入等により前期比微増
- 研究開発費：海外拠点を中心に増加

# 株主還元



1株配当(円)	50	65	55	70	70	70	80	120	160
配当性向(%)	21	37	15	15	19	51	36	32	31
DOE(%)	1.0	1.4	1.1	1.3	1.2	1.1	1.2	1.7	2.2

## Point!

- FY2023 : 当期純利益は減少したが、FY2022と同額予定
- FY2024 : 配当性向30%以上を目標とし、増配予定
- 中計期間の目標指標 : 配当性向30%以上(平均)、DOE2.0%以上(最終年度)

# Move Forward



# 本日は、ありがとうございました。

## ※注意事項

本資料は、2024年5月24日現在の当社グループの事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に記載した意見や予測等は資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

問合せ先：IR/広報室  
TEL: 03-5744-0523 FAX:03-5744-0512  
<https://www.takasago.com/ja>  
E-mail: [ir@takasago.com](mailto:ir@takasago.com)